

競争と共創でつくる サーキュラーエコノミーについて ～現在の課題と進むべき方向～

2026年8月28日

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長

東海大学

細田衛士

国策となった サーキュラーエコノミー（循環経済）

急ピッチで進む循環経済構築のための施策

- **第5次循環型社会形成推進基本計画**において**サーキュラーエコノミーが国策**となる（2024年8月）。
- **改正資源有効利用促進法**の施行（2026年4月）。
- **循環経済行動計画**の策定（2026年4月）。
- **廃棄物処理法の改正**（金属スクラップなどのヤード問題への対応、2026年6月）。

循環経済行動計画

(2026年4月)

5つの重要な柱

1. 再生資源供給サプライチェーンの強靱化（重要鉱物、金属資源等）

2. 日本をハブとする国際資源循環ネットワークの構築

3. 地域循環資源の徹底活用による地域活性化

4. 資源循環分野の国際ルール形成

5. 循環経済を国民運動に

循環経済行動計画

再生資源供給サプライチェーンの強靱化（重要鉱物、金属資源等）について

《特出し項目》メタルリサイクル推進戦略：鉄、アルミ、銅などを初めとする重要鉱物の再生材供給・調達能力の強化、付加価値生産性の向上

(1) 再生資源化拠点等の構築・ネットワーク形成

(2) 動静脈連携（製造業と資源循環産業）による産業競争力強化

(3) 循環資源の海外流出の抑制

(4) 一般消費者等の再生材需要性向上と需要拡大に向けた環境整備

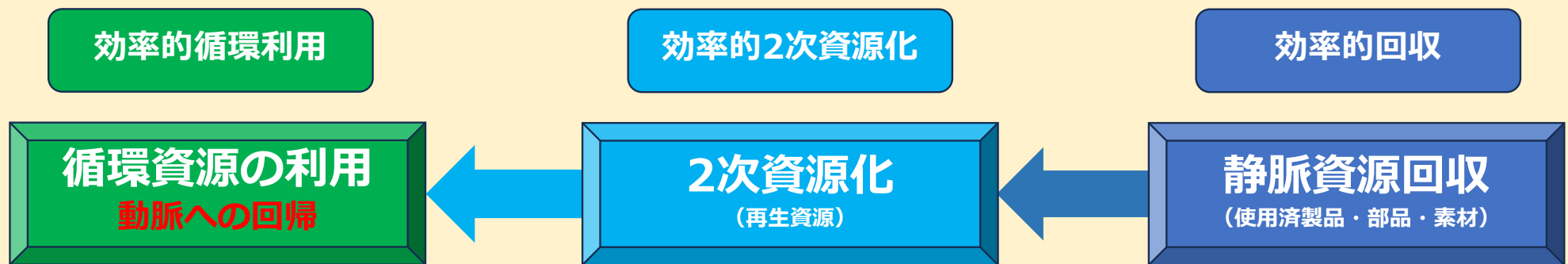
(5) 社会課題への対応（太陽光パネルリサイクル法施行へ、リサイクル費用逡減と処理体制の整備、リチウムイオン電池分別回収・再資源化促進）

サーキュラーエコノミーの実現のために

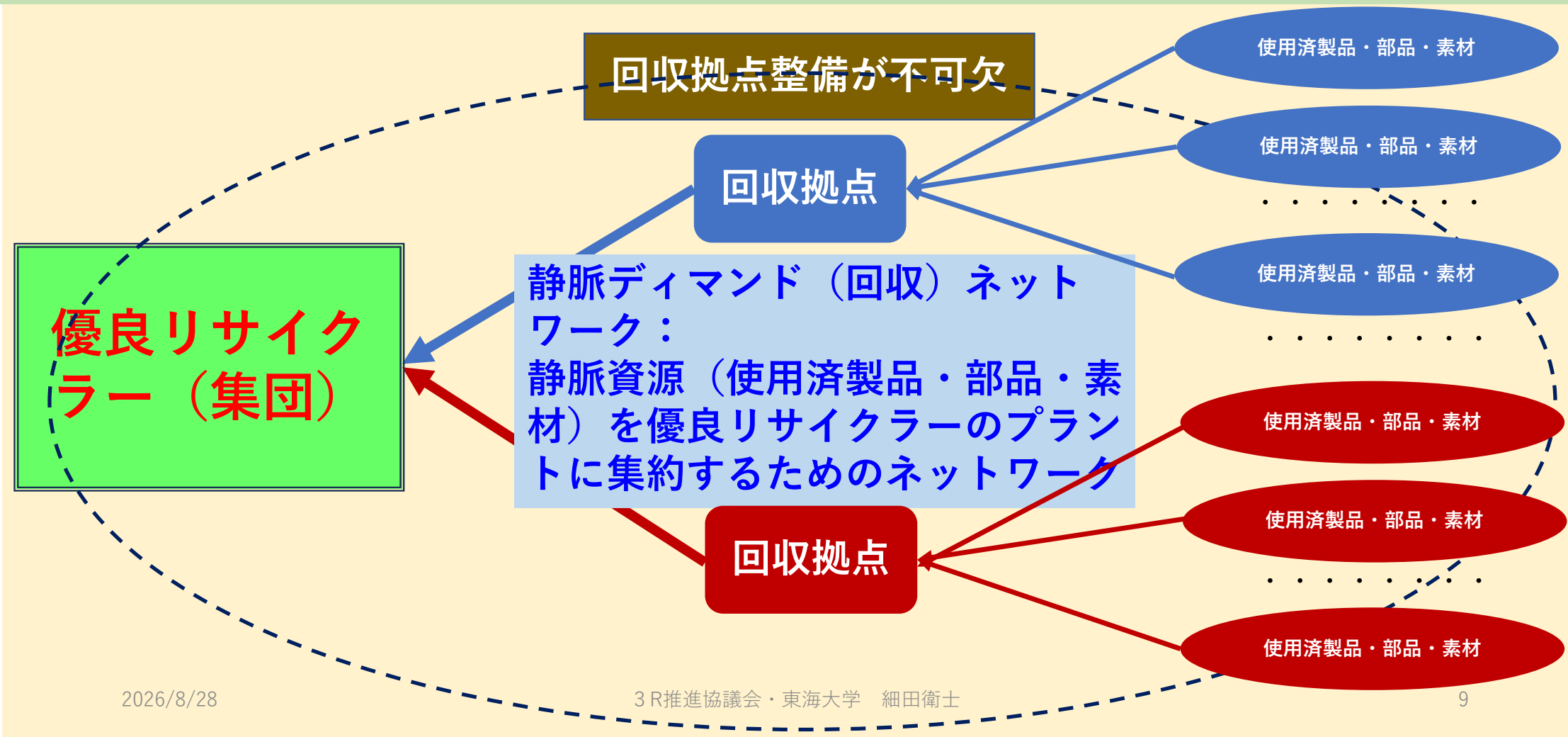
集めることの重要性（課題）

- サーキュラーエコノミー実現の大前提は「集めること」。
- モノが集まらなければ話にも何にもならない。
- 静脈資源（使用済製品・部品・素材）を効率的に回収し、中間保管場所にまで運び、そこからリサイクル拠点に輸送する。
- リサイクル拠点で静脈資源は2次資源（再生資源）に転換される。
- 付加価値のつけられた2次資源（再生資源）は循環資源として循環利用されることになる。
- 静脈資源の持つ潜在資源性を2次資源化することによって資源価値を顕在化させる！

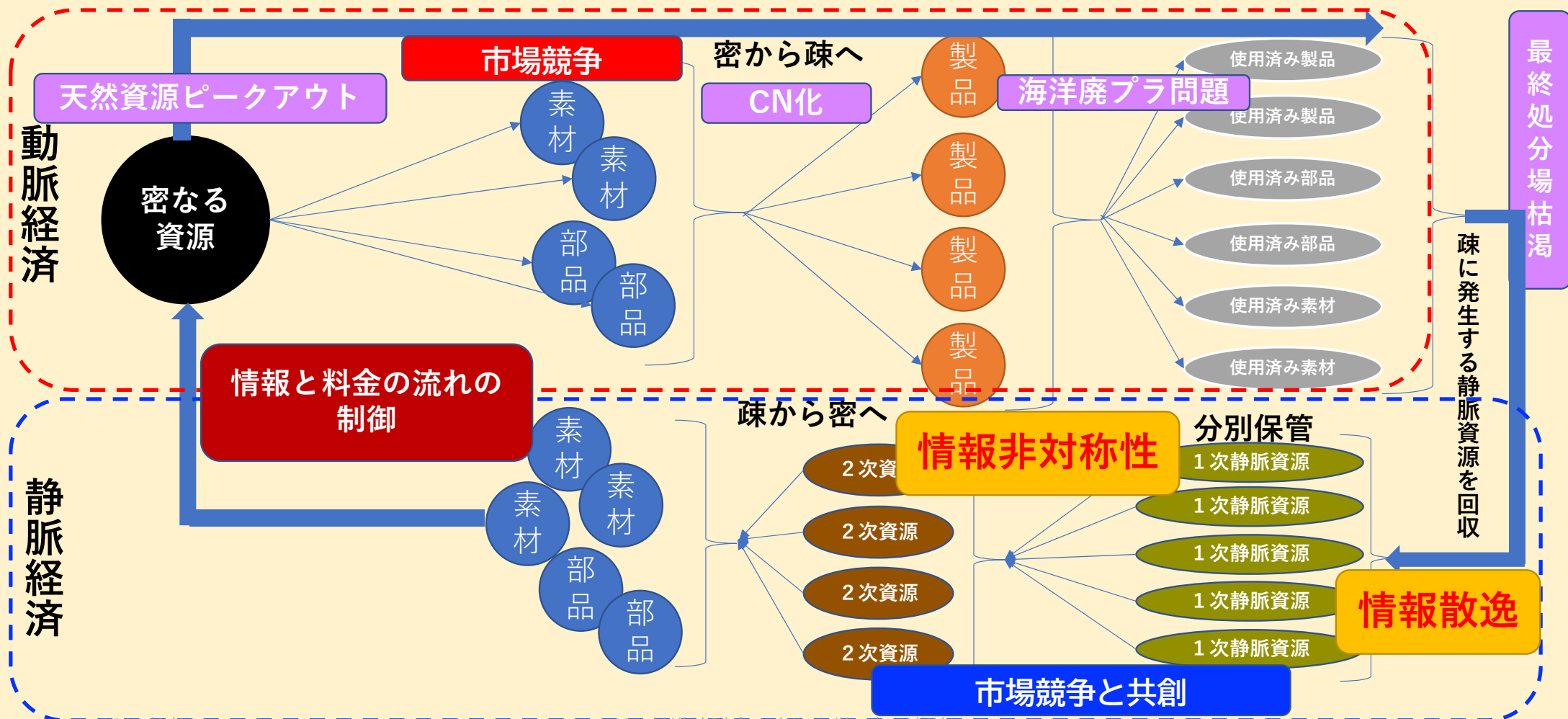
静脈のフロー



共創的ディマンド（回収）ネットワーク



動静脈共創ネットワーク



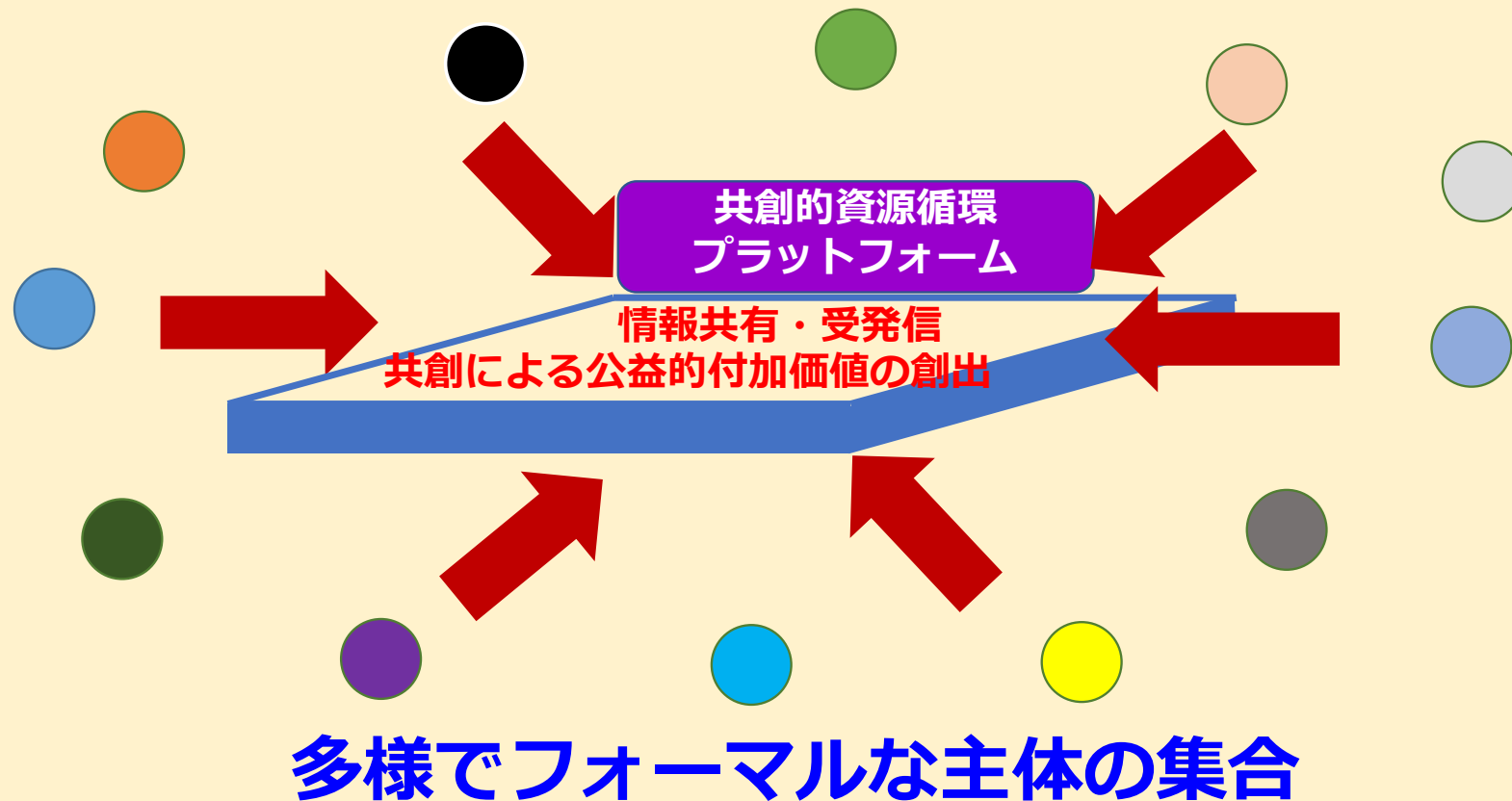
疎なものを密にする

- 静脈資源（使用済製品・部品・素材）は疎らに発生する。
- 静脈資源の発生情報も内容組成情報もほとんどない。
- 競争市場では、集められた静脈資源が2次資源化（再生資源化）されたとしても、それが国内で循環資源として利用される保証もない。（⇒海外流出の可能性）
- 国内で資源の高度な循環利用を実現するためには、生産物連鎖制御を強化し、静脈連鎖で共創力を生かして静脈資源を効率的に収集し、優れたリサイクルプラントで2次資源化し、国内動脈事業者に引き渡すシステムが不可欠。

情報共有と受発信

- **静脈資源（使用済製品・部品・素材）の発生情報**の獲得は資源の高度な循環利用にとって第1のステップ。
- 静脈資源の**内容組成情報を正確に発信**し、**静脈事業者が共有**できることが第2ステップ。
- 第3のステップは**2次資源化（再生資源化）**の内容情報が動脈事業者に正確に伝わること。
- **以上の3つのステップが的確に実行**されることによって、**生産物連鎖制御**が完成する。
- そのために、**共創的資源循環プラットフォーム**の構築が必要になる。

共創的資源循環プラットフォームの構築



ユニークな共創の事例

動静脈 2 者間共創

競争市場を介さない委託共創関係による取引



地域間共創

瀬戸内資源循環プロジェクト

- **ポリスチレン（PS）食品容器の資源循環利用**のためのプロジェクト。
- **地域間異業種連携**によって**PS（食品容器）の水平リサイクル**を実現するプロジェクト。
- 小売店舗（PS容器排出）⇨オガワエコノス（回収・選別・加工）⇨CFP（ケミカルリサイクル）⇨太陽石油（石油精製）⇨Asahi KASEI（スチレン製造）⇨PSジャパン（ポリスチレン製造）⇨シーピー化成（PS容器製造・販売）⇨小売店舗。
- このような**閉じた資源循環**によって**水平リサイクル**が可能になる。

瀬戸内資源循環プロジェクトの図

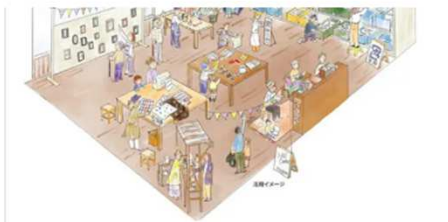


資料出典：旭化成アドバンス株式会社ウェブサイト、https://www.asahi-kasei.co.jp/advance/jp/news/pdf/20251001_setouchi_pj.pdf

神戸プラスチックネクスト

多様な主体の共創

KOBE PLASTIC NEXT



2024.08

まわり続けるリサイクルを実践する拠点「資源回収ステーション」



2024.03

知って・学んで・参加しよう！プラスチックリサイクル 神戸プラスチックネクストinコープこうべ



HOME PROBLEM NEXT CONTACT



2023.12

「六甲アイランドハロウィンフェスティバル2023」につめかえバックリサイクルプロジェクトが出展しました！



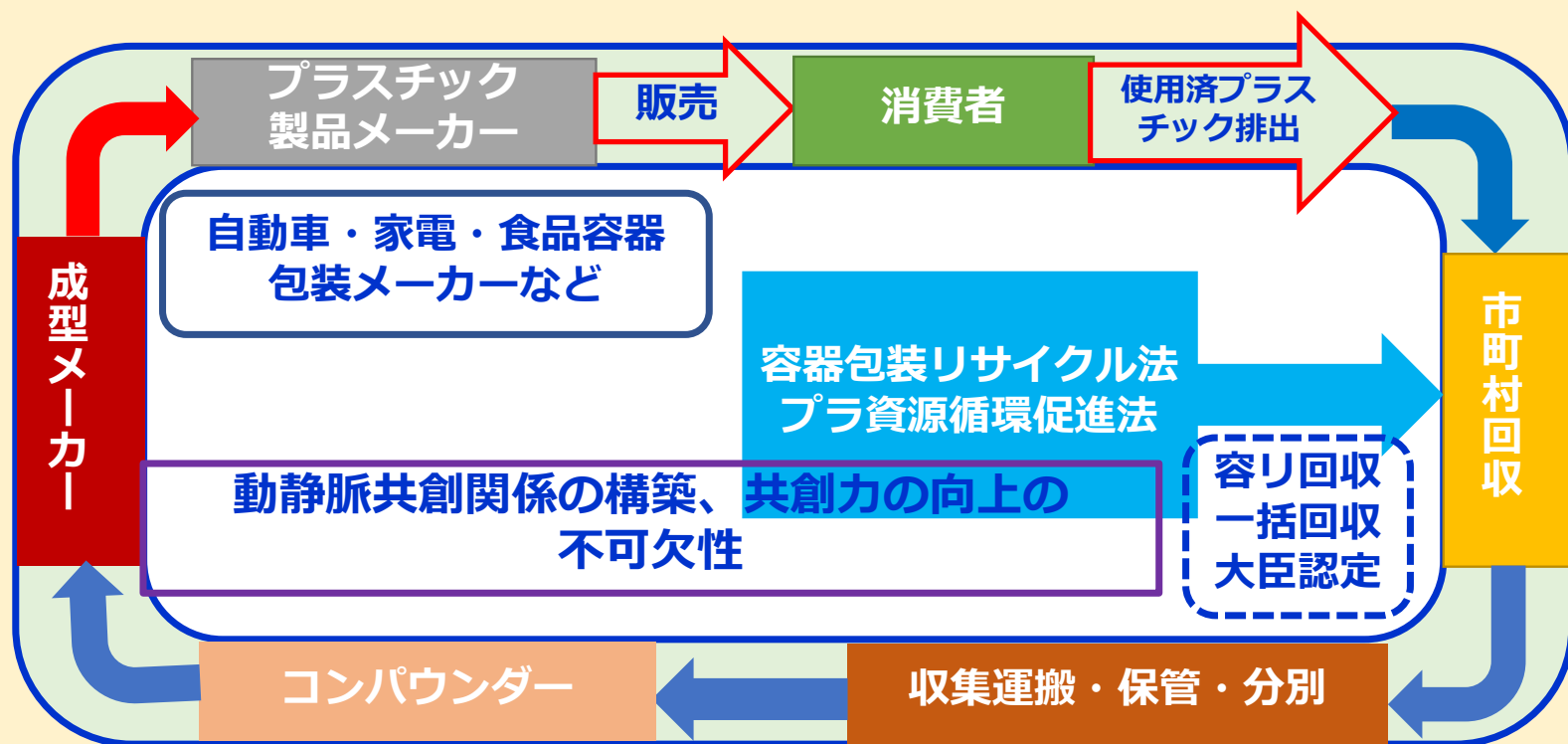
様々な主体（市民、自治体、企業、NGOなどの連携協力＝共創力がないとこのような取り組みはできない！

2026/8/28

3 R推進協議会・東海大学 細田衛士

18

プラスチックの共創的資源循環 ありうべき姿の略図



おわりに

共創力の涵養と向上

- サーキュラーエコノミーの実現には「共創力」の涵養と向上が不可欠。
- 水平的な共創関係と共に垂直的な共創関係を作り上げ、まずは静脈資源の効率的な回収、物流を達成すること。
- 次に拠点回収力を強化し、優秀なリサイクラーに静脈資源を引き渡し、質の高い2次資源（再生資源）を生産する。
- 動静脈共創（垂直的共創）のもとに、動脈事業者にとって質・量ともに安定的な2次資源の供給を実現する。
- 競争と共創のバランスをいかに保つか、これがこれからの挑戦！

ご清聴ありがとうございました。

子曰、朝聞_レ道、夕死可矣。
論語、里仁